休憩施設規制作業（ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ）作 業 手 順 書

会社名	中日本ﾊｲｳｪｲﾒﾝﾃ名古屋㈱	施工ｹｰｽ	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和7年1月17日		2tトラック		保護帽、手袋、安全靴、安全ﾁｮｯｷ、黄旗（からまんで一）、長赤灯、消火器	規制機材一式
改訂日	令和7年1月17日					
作成者	森本					

必要資格等		運転免許（旧普通・中型）、職長教育講習	作業人員	3 名	その他	
			作業人員	名		

可能性	1：ほとんど起きない（5年に1回程度）	2：たまに起きる（1年に1回程度）	3：かなり起きる（6ヶ月に1回程度）
	頻度率：1	頻度率：2	頻度率：3

×

重大性	軽微（不休災害）	重大（休業災害）	極めて重大（死亡・障害）
	危険度：1	危険度：2	危険度：3

＝

評価	対策変更の必要なし	対策が必要	即座に対策が必要
	1～2	3～4	5～9

作業工程	施工ｹｰｽ	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因（予測される災害・事故）（品質、トラブルも含む）	評価 可能性	評価 重大性	評価	危険有害要因低減対策	対策後 誰が 点検・確認	対策後 評価 可能性	対策後 評価 重大性	対策後 評価	参考図（別紙も可）
準備作業			**・作業前ミーティング**										
	共通	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	4	新規入場教育の受講。	職長	1	2	2	元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とすること。
	共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	2	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1	
	共通	3	服装、保安用具の点検をする。	自発光ﾁｮｯｷの球切れがある。からまんで一の音が鳴らない。	2	2	4	規制員に、事前点検を実施させる。	全員	1	2	2	
	共通	4	機械・規制材等の準備、点検をする。	協議書に基づいた規制材でない。車両の不具合。	2	1	2	担当者との協議書を元とする事前打合せをする。	全員	1	1	1	
			（痛んだ規制材は使わない、点灯確認）	規制時に視認性が悪い。	2	2	4	事前点検を確実に実施する。	全員	1	2	2	
	共通	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	2	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2	
	共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	1	3	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2	
		7	緊急避難方法を確認する。	異常時の合図が分からず、避難ができない。	3	1	3	緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1	2	
	共通	8	車両点検、荷姿、ﾌﾟﾚｰﾄﾁｪｯｸをする。	積荷等が落下する。	2	2	4	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ社員にて行う。	全員	1	2	2	
				規制材の落下。	2	3	6	ラバコーンなどをアオリより出さない。ロープ、ネットによる養生。	全員	1	3	3	
				業務用プレートの不正使用。	2	1	2	プレートチェックを自主とメンテ社員にて行う。	職長	1	1	1	
移動			**・現場への移動**										
	共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。	2	3	6	NEXCOの一員であることを自覚して運転する。	運転手	1	3	3	
	共通	2	高速道路に入る前には、プレート	プレート区域外使用、不正使用。	2	1	2	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。	全員	1	1	1	
			を確認しておく。					（自主、メンテ社員）					
規制設置	共通	1	ラバーコンの設置（人力での設置）。	ラバコーンを落下させてケガをする。	2	2	4	滑り止め付き手袋を使用するなどの落下対策を行う。	全員	1	2	2	
				ラバコーンを落し一般車両に接触させる事故。	1	3	3	作業員と保安員の体制で行う。	全員	1	1	1	規制状況
	共通	2	工事案内看板を設置する。	案内看板が一般車両の風圧で倒れる。	2	3	6	水土嚢や赤土嚢による固定を徹底する。	全員	1	3	3	
	共通	3	保安員は、作業現場の保安に当る。	作業員が駐車ますへはみ出し、一般車両に接触する。	2	3	6	作業状況に応じた監視位置とする。	全員	1	2	2	
規制撤去	共通	1	工事案内看板を撤去する。	規制内に忘れ車両に支障をきたす。	1	2	2	場内確認を行う。	全員	1	1	1	
	共通	2	ラバコーンの撤去を開始する。	ラバコーン撤去時、作業員が一般車両と接触する。	2	3	6	保安員が一般車両の動向に十分注意するよう徹底させる。	全員	1	3	3	※ラバコーンの設置と同様（人力）
	共通	3	荷台の養生をする。	養生をする時に通行車両と接触する。	2	3	6	養生は駐車マスで行う。	全員	1	3	3	
	共通	4	移動時の荷姿を点検する。	走行中に規制材が落下する。	2	3	6	ロープ、ネット等で規制材を固定し、落下の恐れが無いか確認する。	全員	1	3	3	
移動			**・基地への移動**										
離脱	共通	1	離脱。	本線合流時に接触事故。	2	3	6	車両間隔を十分とって合流。	全員	1	3	3	
	共通	2	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。	2	3	6	NEXCOの一員であることを自覚して運転する。	運転者	1	3	3	
	共通	3	車両の駐車。	他の車両と接触事故を起こす。	2	1	2	車両駐車時は、誘導員を配置する。	全員	1	1	1	
	共通	4	書類の提出。	書類の紛失。	2	1	2	全員で確認すること。	全員	1	1	1	
共通事項			**（1）規制材を本線で落とさせないよう、必ず飛散防止ネット・ロープ等の対策を行う。また、飛散するものが無いか出発・離脱前に車両を確認する。**										
			（2）一人作業は極力回避する。やむを得ず行う場合は、保安員の監視の下で実施する。										
			（3）トラックの荷台に上がる場合は、昇降階段を使用する。										
			（4）現場での保安・監視を行う場合は、事前に退避場所を確認する。										
			（5）現場での保安・監視時は、一般車の動向を見て車両進入等の異常事態時はしらすんだ一警報機を使用し作業員に知らせ、自身も退避する。										保安状況